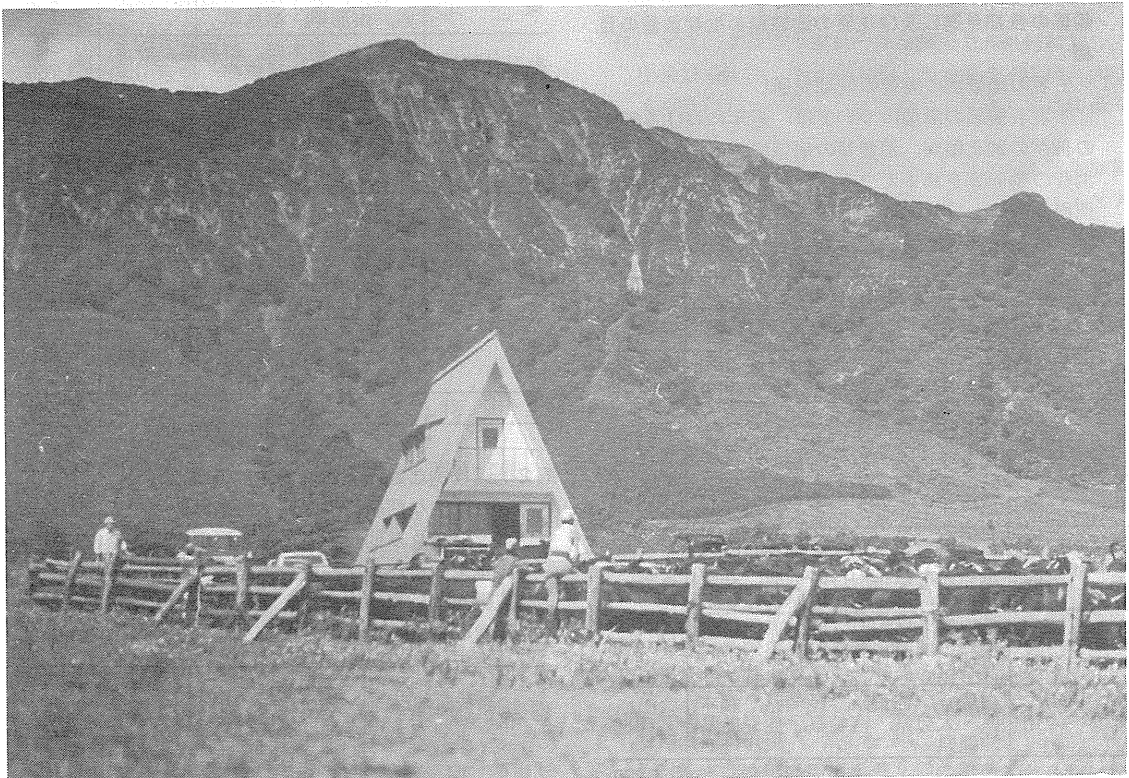


# 畜産みやぎ

題字  
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所  
仙台市錦町二丁目1番40号  
法興宮城県畜産会  
電話 (62-9183)

編集発行人 大石 武一  
定価 1部20円  
印刷所 K K東北プリント



鳴子町営放牧場

## もくじ

酪農近代化基本方針について	2
昭和51年度の乳価について	3
肉用牛生産振興資金について	4
乳用牛群改良推進事業の仕組みとその成績	5
家畜事故防止対策指導事業について	8
白と黒	9
牧場体験談	10
<畜産試験場便り> 子牛の乾物摂取量	11
昭和51年度家畜市場開設日程のお知らせ	12
市場案内	12
畜産コンサルタント新規事業の紹介について	13
畜産団体紹介(7)	13
畜産映画ライブラリー案内	13
人の動き	14

# 酪農近代化基本方針について

## 宮城県畜産課

### 酪農近代化基本方針

(51.3) 農林省畜産局

#### 第1 生乳の需要の長期見通しに即した生乳の地域別の需要の長期見通し及び生乳の地域別の生産数量の目標

##### 1 生乳の地域別の需要の長期見通し

牛乳乳製品の需要については、近年における需要の伸びの鈍化傾向、消費量の地域格差の縮小、食料消費の動向等を踏まえつつ、今後の都市化の進展、所得水準の上昇等に伴う消費量の増大を見込む。

(1) 飲用向け需要量(全国計) 4,280千トン

地域別	地域に属する都道府県名	数量
北海道	北海道	千トン 190
東北	青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県	280
関東	茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 山梨県, 長野県, 静岡県	1,700
北陸	新潟県, 富山県, 石川県, 福井県	180
東海	岐阜県, 愛知県, 三重県	430
近畿	滋賀県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県	750
中国・四国	鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県	370
九州	福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県	380
全国計		4,280

(2) 乳製品向け需要量(全国計) 3,280千トン

(3) 自家消費等需要量(全国計) 120千トン

(4) 需要量計 7,680千トン

##### 2 生乳の地域別の生産数量の目標

生乳の地域別の生産数量については、酪農経営を

取り巻く環境条件の変化に対応した酪農経営の立地移動の傾向、飼養規模拡大の地域的動向、飼料生産基盤の地域差及び乳用牛の能力向上等を考慮し、目標を設定する。

地域別	地域に属する都道府県名	数量
北海道	北海道	千トン 3,040
東北	青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県	720
関東	茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 山梨県, 長野県, 静岡県	1,765
北陸	新潟県, 富山県, 石川県, 福井県	150
東海	岐阜県, 愛知県, 三重県	380
近畿	滋賀県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県	345
中国・四国	鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県	650
九州	福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県	680
全国計		7,680

#### 第2 近代的な酪農経営の基本的指標

近代的な酪農経営の基本的指標については、酪農専業経営及び他作目の複合形態をとる経営につき、土地条件及び地域性等を考慮し、高度な技術と資本装備を有し高い生産性と収益性をもつ安定的な酪農経営の指標として設定する。

区分	土地条件の制約が比較的小さい地域		土地条件の制約が比較的大きい地域	
	専業経営	複合経営	専業経営	複合経営
(1) 飼養頭数規模(経産牛頭数)	40頭止	15頭止	30頭止	10頭止
(2) 酪農部門投下労働1時間当たり生乳生産量	35kg以上	25kg以上	30kg以上	17kg止
(3) 経産牛1頭当たり飼養管理労働時間	105時間以下	155時間以下	110時間以下	205時間以下



### 鶏糞無臭乾燥機

SD-100  
SD-400  
SD-700



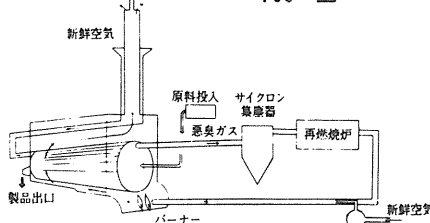
## 三菱機器販売(株) 仙台支社

仙台市原町苦竹字下二十町谷地102-2

LET (0222) 94-3281 (代)

### 無臭乾燥機の原理

SD 100K 型  
SD 700 型 } の場合



(4)飼料作10アール 当たり労働時間	5時間 以下	10時間 以下	40時間 以下	45時間 以下
(5)飼料作10アール 当たり養分生産 量(TDN換算)	590 kg 以上	590 kg 以上	800 kg 以上	1,000 kg 以上
(6)飼料自給率 (TDN換算)	80% 以上	75% 以上	60% 以上	65% 以上

第3 集乳及び乳業の合理化に関する基本的な事項

1 集送乳の合理化

集送乳の合理化、近代化を図り、生産者団体による生乳の共同販売体制を整備充実するとともに、広域の生乳需給調整体制の整備を図る。

2 乳業の合理化

資本整備の高度化による生産性の向上を図るとともに、牛乳乳製品の流通段階における合理化に即応した生産施設の整備充実、生活環境の保全等社会的要請に応じた近代的な生産体制の整備を図る。

(酪農係)

## 昭和51年度の 乳価について

### 宮城県乳販連

去る3月31日に加工向原料乳保証価格等が決定され4月1日から実施されたので、飲用乳価の状況も含めてお知らせすることにいたします。

1 加工向原料乳保証価格等

これらについては表1、2のとおりですが、これが算定の問題点として

- (1) 政府の物価抑制策によるガイドライン一けた以内におさえされた。
- (2) 市乳化促進のため飲用と加工の価格差は28円以上必要で飲用乳価と加工乳価を連動せしめようとする考え方は不合理である。北海道の80%を占める加工乳のうちのわずかを市乳化するよりも加工乳価そのものを引き上げることが先決である。
- (3) 乳製品安定指標価格の引上げは平均17.9%に比し加工原料乳基準取引価格はわずか8.3%にすぎずメ

ーカーのみ利益をうける。

- (4) 加工原料乳価算定対象地域が1道1県に限定され、これにより判定した乳価を全国の加工乳価にするのは不当である。
- (5) 多量の乳製品を輸入しながら加工原料乳の不足払対象の限度乳量をきめるのもおかしい。
- (6) 第3次酪農近代化計画目標の年増加率を達成するためには1けた以内の乳価値上げ巾では達成不能である。
- (7) 酪農の1日当り家族労働報酬の3,686円に対し、小麦11,641円、米8,910円、馬鈴薯8,452円、大豆4,098円と……他よりはるかに下にあり不当に低く評価されている。

以上のような不満や問題をのこしながらも政治加算がキロ1円24銭でキロ86円41銭(6円12銭、7.6%アップ)更に乳質改善奨励金名目でキロ1円別途上積みされ、実質87円41銭(7円12銭、8.9%アップ)となった。

補完措置として乳価以外に政策的に条件整備を打ち出している。即ち

- 1) 荒廃草地更新の補助のわくの拡大し、国費によらず草地造成したものを補助対象とする。
- 2) 畜産近代化リース協会に地全協より本年は6億円を補助しバルククーラーを6年割賦払で導入させるので無利子の導入となる。
- 3) 酪農家の固定負債対策は実情を調査し対策を考慮する。

以上のような補完措置を見出したことはせめてもの救いではあるが酪農の基本的な条件整備に本格的に取り組んで行く姿勢を増幅拡大されることを望むで止まない。

2 飲用向原料乳価

飲用乳価は昨年はじめより2回の出荷ストを含む大小5回の大会を開き猛烈な乳価交渉を経て50年8月にキロ5円アップ、51年1月に9円40銭引上げられ本県における飲用乳価はこれで107円51銭となった。未決定になっていた「以上」の分については9銭6厘と決定、51年4月から52年3月まで中央酪農会議に積立て中酪は消費拡大事業のためにきよ出すことになった。

画期的な家畜ふん尿処理用  
めづまりのない

### 多板式固液分離機

- 生ふん脱水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力



株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

総合養豚事業にとりくむ  
サイボクグループ



(株)サイボク

東北牧場

取締役社長 笹崎龍雄

取締役場長 大角宏一

宮城県栗原郡高清水町影の沢 TEL (022858) 2141

このような乳価の状況からみて酪農家の手取乳価を増やすには個々の経営の合理化を図ることは勿論であるが、乳質改善—飲用化促進—加工率の減少によって実質乳価のアップを期待する以外にないので酪農家をはじめ関係機関の絶大なる御協力をお願いいたします。

# 肉用牛生産振興 資金について

宮城県畜産課

51年度保証価格等と前年対比

	51年度決定額			50年度	49年度
	価格	前年対比	増減額		
保証価格	円 86.41	% 107.6	円 6.12	円 80.29	円 70.02
基準取引価格	62.34	108.3	4.77	57.57	53.41
補給金単価	24.07	105.9	1.34	22.72	16.61
加工原料乳限度数量	千トン 1,380	100.0	0	千トン 1,380	千トン 1,380
安定指標価格	円	%	円	円	円
バター (1kg)	116.0	116.1	161	999	914
脱粉 (25kg)	12,660	109.7	1,120	11,540	11,540
全れん(24.5kg)	9,463	118.0	1,445	8,018	7,730
脱れん(25.5kg)	8,437	127.8	1,837	6,600	6,600

注) 保証価格および補給金単価は、乳質改善奨励金の名目で、さらにプラス1円となっている

## 1. 肉用牛飼養の現状

本県の肉用牛飼養の現状を見ると、飼養戸数は生産盤の弱さと、農外所得に依存する農家の増大により1〜2頭飼養層を中心に一貫して減少を続けており、ここ、10年間に約半分に減少し、50年現在23,800戸となっている。一方飼養頭数は46年に素牛資源の不足等により一時停滞したものの、その後専用種の下げどまりと乳用雄牛肥育の進展に支えられて増勢に転じ49年には70,100頭まで伸びたが、その年の所謂「畜産危機」と呼ばれる非常事態に直面し飼養廃止や飼養規模縮小がみられ50年には65,000頭に減少している。このような傾向は全国的で50年になって、ようやく飼料価格も小康状態となり、更に牛肉価格も上昇し、高水準で推移しているところから生産活動は徐々に回復基調にあるが、畜産農家に将来に対する不安感もあって、その回復テンポは極めて遅く、なお肉牛生産の大巾な減少が続いている。然し食肉需要は今後ともその増大が見込まれており、特に牛肉に対する需要は極めて強いものがあるが、牛肉の生産供給は世界的にも長期的に需給のひっ迫が予測されており国民食料の安定確保のため強力に国内生産の維持増強を図る必要に迫られている。

## 2. 肉用牛生産振興資金の必要性

以上のように肉用牛生産は畜産危機の後遺症により停滞し供給不足状態が続いており、緊急に国内生産を増加させるためには、農家経営に直結した特別の刺激対策が必要となっている。とくに繁殖経営の場合飼養規模が零細なうえに、子牛の販売収入が唯一の収入源であるが、子牛価格の低迷に加えて、子牛生産するまで長期間を要するため資金回転が極めて遅い特性から規模拡大が阻害されており、飼養頭数を増大させるためには子牛販売時点で得られる収入に対応する資金融通が必要である。又肥育経営の場合は素畜費・飼料費等多額の借入金に依存しているが、一昨年末の畜産危機による経営赤字の累積は極めて大きく、その後の牛肉価格の上昇により、経営は黒字基調に好転しているものの、まだ過去の累積赤

保証価格の費目別対比

項目	年度	51年度原案	51年度決定額	50年度	対前年比	
					額	比率
飼育労働費(家族)	2,425円	2,425円	2,289円	156円	106.9%	
(雇人)	72	72	57	15	126.3%	
流通飼料費	1,756	1,795	1,844	△49	97.3%	
飼料作物費	2,037	2,037	1,836	201	110.9%	
牧草料費	113	113	94	19	120.2%	
種付料	119	119	107	12	111.2%	
光熱、水費	69	69	61	8	113.1%	
獣医医薬品費	111	111	106	5	104.7%	
賃・料々金	151	191	176	15	108.5%	
乳牛償却費	665	665	387	278	171.8%	
建物費	162	162	166	△4	97.6%	
農具費	189	189	154	35	122.7%	
畜力費	4	4	4	0	100.0%	
費用合計	7,943	7,952	7,261	691	109.5%	
仔牛	△853	△738	△658	80	112.2%	
きょう肥	△288	△288	△265	25	109.5%	
第1次生産費	6,802	6,926	6,340	586	109.2%	
地代	471	471	378	93	124.6%	
資本利子	790	790	842	△52	93.8%	
第2次生産費	8,063	8,187	7,560	627	108.3%	
租税公課	105	105	91	14	115.4%	
集乳経費	249	249	284	△35	87.7%	
販売手数料	100	100	94	6	106.4%	
保証価格	8,517	8,641	8,029	612	107.6%	

※印は、原案よりの加算分

# 飼料は みのり

採卵鶏用配合飼料  
ブロイラー用配合飼料  
肉牛用配合飼料  
乳牛用配合飼料

## 北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号  
TEL 石巻 02252 (5) 4171~4

動物用薬品器材のことなら 古い伝統  
頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

## 東北獣医薬品株式会社

TEL ☎ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩洗1

02202 (2) 2278~9

山形営業所 山形市小石川四丁目9-24

0236 (23) 9909・9900

古川営業所 古川市中里三丁目3-32

02292 (3) 6266・6267

字の穴埋めまでにいたっておらず、更に危機の際に緊急融資された肉用牛肥育経営維持継続資金の償還が本年3月に行なわれており、次の肥育経営を継続させるため、新たな資金供給が必要な時期にある。

又乳用雄子牛の哺育育成経営においては、49年以降の価格低落の影響が最も大きく、多額の赤字を抱えて、経営が困難となっている。

以上のような情勢から今回畜産振興事業団の牛肉輸入差益金を原資として「肉用牛生産振興資金」制度が設定され、下記の内容で緊急に生産農家に経営資金を融通するための利子補給を行なうこととなったのである。

3. 肉用牛生産振興資金の内容

(1) 融資金額

全国ワク・299億円。宮城県ワク・1,082百万円

(2) 利子補給基金

畜産振興事業団からの利子補給補助金を県信連に基金を設けて積み立てし、各融資機関に利子補給する。

(3) 貸付対象者

肉用牛生産振興地域等の個人及び法人。

(法人は農事組合法人・農協連・農協・農業を主たる業務とする合名会社・合資会社・有限会社・株式会社・及び民法第34条の公益法人)

(4) 貸付基準額

肉用種繁殖雌牛・肉用種雄牛・乳用種雄牛で確認時における飼養頭数の $\frac{1}{2}$ に相当する頭数に下記の融資単価を乗じた金額、但し個人800万円・法人2400万円が限度額

肉用繁殖雌牛 10万円      乳用雄子牛      5万円  
肉用雄牛      20万円      (8ヶ月令までの子牛)  
乳用雄肥育牛 10万円

(5) 償還期限

5年以内・元金均等償還  
(但し肉用繁殖雌牛のみ1年据置)

(6) 貸付金利

基準金利9.5%一利子補給率4.5%二末端5.0%

(7) 資金の使途

肉用牛生産経営安定のための資金として使用されるものであれば特に限定されない。  
(素牛・飼料・施設機械等の取得及び借替資金)

(8) 貸付月日

借入れ申込み 51年6月30日まで

貸付月日 51年7月31日まで

(9) 融資機関

農協・農協連合会・農林中金

知事が指定する銀行・相互銀行・信用金庫

(10) その他

近く説明会を開催する予定である。(肉畜係)

乳用牛群改良推進事業  
の仕組みとその成績

宮城県畜産課

1 乳用牛群改良推進事業の目的

優良乳用牛の資源確保と、高能力牛の選抜利用を図るため能力検定を組織的に実施し、検定牛の情報をもとに乳用牛の飼養管理、検定成績から選抜淘汰等改良と経営の改善をおこない乳用牛の改良の促進と効率的な酪農経営の展開に寄与することを目的としている。

2 事業の内容

1) 事業委託団体 県畜産農業協同組合連合会

2) 協力指導機関

築館家畜保健衛生所、迫家畜保健衛生所

3) 検定組合

仙北乳用牛群改良推進組合

4) 実施対象農家及び頭数

栗原郡、登米郡、本吉郡内65戸、650頭

5) 生乳検査機関 宮城県畜産試験場

6) 検定集計分析機関 家畜改良事業団計算センター

7) 検定方法

改良推進組合に参加する農家が飼養する搾乳牛全頭を対象に、毎月1回、検定記録票により検定する。

8) 検定成績

牛群の個体ごと、1日、1ヶ月、累計305日の実量又は期待量について集計、分析の都度農家及び関係機関に検定成績を送付する。



NEP

純生卵

「生産から販売まで」

(株)フラワー食品仙台営業所

TEL (0222-92-6371)

色麻GPセンター

TEL (02296-3-4019)

(02296-3-4047)

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事

さく井工事

畜舎工事

ポンプ工事

設計・施工

水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地

電話 (0222) (93)2461

3 検定成績の概要

検定実施牛は、毎月1回搾乳の都度検定指導員が立会いし、検定記録票に必要事項を記入のうえ、サンプリングした生乳を畜産試験場において、ミルコテスターにより測定した。結果は下記のとおりであった。

以上の結果を得たが

(1) 乳飼比  $\frac{\text{購入飼料費}}{\text{乳代}}$  は 16~35% の範囲にあり 30% 以下が 8.9.3% を占めている。(30% 以下が望ましい)

(2) 飼料効果(濃厚飼料1kg当りの乳量)は、1.8~4.1の範囲にあったが、3.0以上の飼料効果比率牛は、わずかに32.7%であり、濃厚飼料偏重の給与態型が多いことがうかがわれる。

(3) 搾乳牛1日1頭当りの生乳生産量は、1.3~2.7kgであり、牛群(農家)による格差が非常に大きい。

(4) 乳脂率は、3.1~4.0%の範囲が中心で66.5%を占めた。

(5) 生乳生産量は、5,000kg~7,000kgであり平均生乳生産量は、日量16.0kgであった。

検定結果については以上のような成績であったが、酪農経営改善には

(1) 能力が高く飼料効率が良く長命で、連産性に優れた乳牛を、いかにそろえるか!!

(2) これら優れた乳牛をいかに無駄なく働かせるか!! にあり、言いかえれば飼養牛群の遺伝的な改良の推進と、飼養管理技術の改善により、1頭当りの産乳量を積極的に増加させることが、酪農経営改善の最も基本的な事項である。

このためには、乳量、乳質等定期的な能力測定と、データを集積をおこない乳牛の選抜と淘汰の目安とし、1頭当りの収益性を高め、酪農経営を安定させることが特に大切と思われる。

乳用牛群改良推進事業における検定対称牛の位置

区分	検定牛	宮城県	全国	換算
搾乳牛1頭当産乳量	5.818kg	5.388kg	5.350	昭和50年度
経産牛	5.515	4.513	4.382	"
搾乳牛1日当	1.60	1.48	1.46	"
経産牛	1.51	1.24	1.24	"
平均分娩間隔	1.8ヵ月			"

産次別比率

産次	1産	2	3	4	5	6	7	8	9	10	15	摘要
509頭	125	133	75	83	55	19	12	3	2	1	1	
100%	24.6	26.1	14.7	16.5	10.8	3.7	2.4	0.6	0.4	0.2	0.2	

(注) 生乳生産量は305日検定実績又は期待数である。

乳脂率比率

乳脂率%	2.0%以下	2.1~2.5	2.6~3.0	3.1~3.5	3.6~4.0	4.1~4.5	4.6~5.0	5.1~5.5	5.6~6.0	6.1以上	摘要
486頭		4	46	166	157	69	31	7	3	3	
100%		0.8	9.5	34.2	32.3	14.2	6.4	1.4	0.6	0.6	

乳飼比比率

乳飼比	16%以下	17~18	19~20	21~22	23~24	25~26	27~28	29~30	31~32	33~34	35~36	37以上
486頭	74	60	59	59	45	62	46	29	22	11	4	15
100%	15.2	12.3	12.1	12.1	9.3	12.8	9.5	6.0	4.5	2.3	0.8	3.1

(注) 乳飼比 =  $\frac{\text{購入飼料費}}{\text{乳代}}$

飼料効果比率

飼料効果	2.0以下	2.1~2.2	2.3~2.4	2.5~2.6	2.7~2.8	2.9~3.0	3.1~3.2	3.3~3.4	3.5~3.6	3.7~3.8	3.9以上
486頭	71	46	54	54	57	45	46	31	17	15	50
100%	14.6	9.5	11.1	11.1	11.7	9.3	9.5	6.4	3.5	3.0	10.3

(注) 飼料効果比率 = 濃厚飼料1kg当りの生産乳量

体重と産乳量

305日平均乳量	480kg以下	481~500	501~520	521~540	541~560	561~580	581~600	601~620	621~640	641~660	661~680	681~700	701~720	721以上
4000kg以下	3	1	3	5	3	2	3	2	2	1	1			
4001~5000	7	3	2	10	9	15	7	7	1	4		1	1	
5001~6000	5	1	4	7	10	15	17	11	11	4	9	1	5	1
6001~7000			2	5	8	6	7	10	7	4	5	3	4	?
7001~8000					1	1	5	5	1	2	3	2		4
8001~9000						2	2	2	2	2	1			2
9001~10000								1	1	1	1			
10001~11000												1		1
体重別頭数	15	5	11	28	33	45	40	34	26	19	20	5	7	11
体重別平均乳量	4550	4520	5000	5010	5650	5710	5480	5850	6180	6270	6510	6140	6190	7270

酪農協の牛乳!

# 全酪牛乳

全酪酪農協同組合連合会(全酪連)  
小牛田工場 遠田郡小牛田町牛飼38  
TEL 02293-2-221



- 臭気的大幅減少...2~3日
- 飼料効率の向上...4~5日
- 抗病性の増強...2~3週後



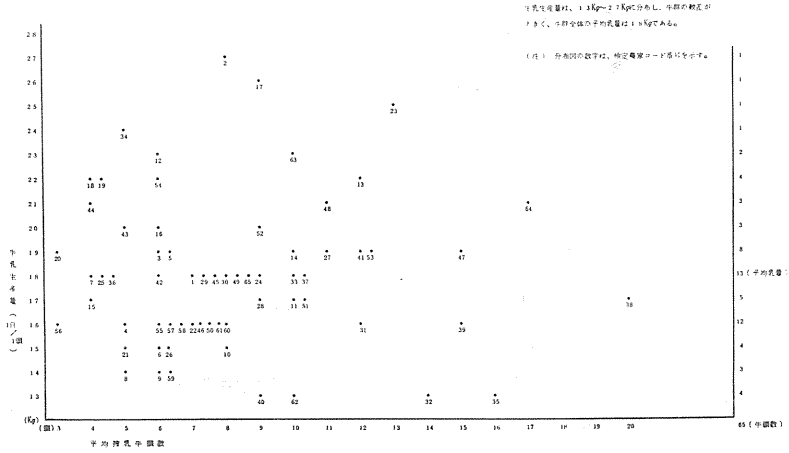
代理店

宮城県登米郡迫町佐沼字小金丁25番地

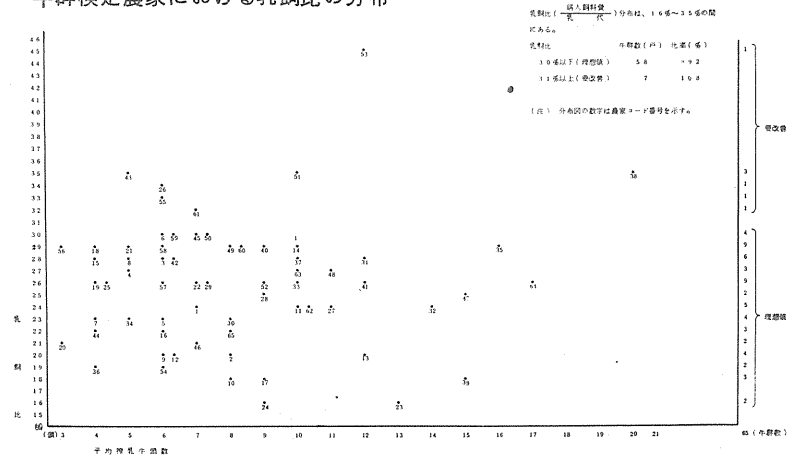
## 東和商事株式会社

電話 迫02202 ②3727番

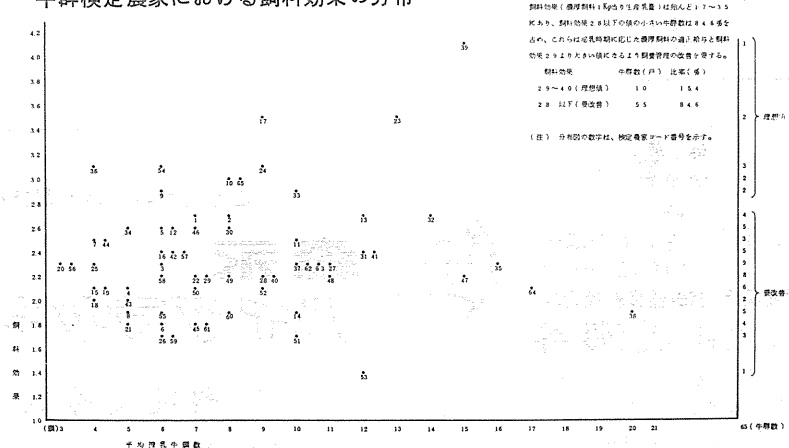
牛群検定農家における牛乳生産量(1日/1頭)の分布



牛群検定農家における乳飼比の分布



牛群検定農家における飼料効果の分布



(家畜改良係)

# 家畜事故防止対策 指導事業について

## 宮城県畜産課

### 1 事業の概要と目的

本県における家畜衛生対策については、家畜伝染病の発生予防と一般疾病に対する衛生対策強化を基本に実施しているが、近年家畜多頭省力的飼養の普及等に伴ない集団飼育施設等における家畜事故発生が多発する傾向が見られる。

これは、飼養管理の失宜並びに衛生管理等の対策が十分対応していなかったことに起因することが大きい。

よってこれに対処するために、昭和51年9月に「県家畜事故防止対策協議会」が設置され各地域の実態に即応した適切な事故防止対策を樹立して推進を図り、その対策事項を直接現地において実施するため各家畜保健衛生所管内を地域とする地区家畜事故防止対策推進協議会が発足して畜産農家等の衛生管理指導に努めている。

本事業の徹底を期することによって家畜事故率の低下を図り(49年度死産率3%を今後1%以下とすることを目標)家畜生産性向上と農家の経済的損失を軽減することを目的として事業を実施している。

### 3 家畜事故防止対策協議会の運営

1) 協議会は、家畜事故率の低下を図るため次に掲げる事項について検討協議し必要な対策を決定し地区協議会とともにその推進を図るものとする。

(1) 事故多発畜種並びに事故多発地域の疾病発生態様の検討

(2) 当該事故多発地域における飼養管理状況等事故多発要因の分析

(3) 事故防止対策上改善すべき事項

(4) 改善事項の具体的推進方法

(5) その他目的達成のため必要な事項

2) 協議会は、年4回開催するものとし、必要に応じて現地調査を行なうものとする。

3) 関係各機関は、協議会並びに地区協議会の決定事項に基づき事故対策の推進を図り、協議会はその結果をとりまとめるものとする。

### 4 地区協議会の運営

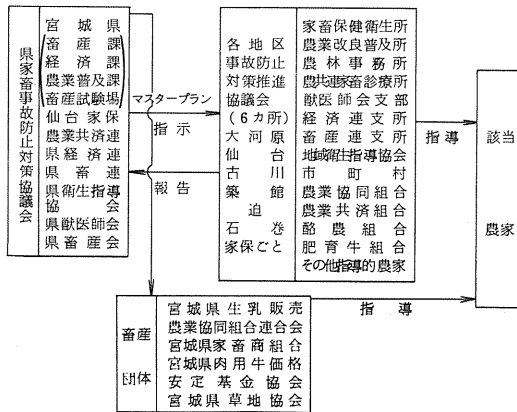
1) 地区協議会は、概ね年3回開催するものとする。

2) 地区協議会の会長は、家畜保健衛生所長が当り連合会家畜診療所に事務局を置く。

### 5 家畜の事故防止対策上必要な指導要領の設定及び事業効果

「公共営放牧場における家畜の事故防止対策指導要領」及び「牛の集団飼育施設における事故防止対策指導要領」を作成し、家畜の選定方法、家畜の管理法及び疾病対策等について具体的に策定し関係機関、団体の協力により衛生指導を実施し事故率の低下に努めているが、その成績は次のとおりである。

### 2 宮城県家畜事故防止対策協議会機構図



(1) 公共営放牧場における事故発生状況

区分 年度	放牧頭数(頭)	死産事故(%)	左の死産内訳					その 他	左の疾病の内訳										
			肺炎	下痢	急性鼓張	ビロプラズマ	事 故		牛肺虫症	ビロプラズマ	肺炎	蹄病	ピンクアイ	下痢	真菌	未経産乳房炎	感冒核疾患	その他	
48	4,300	194 (4.5)	149	23	17	3	2	1,545 (3.59)	286	40	391	296	17	182	17				
49	4,611	54 (3.3)	44	26	26	17	14	27	1,377 (2.9)	123	255	122	195	291	175	78	34		
50	4,085	43 (1.0)	6	12	6	5	7	7	619 (15.1)	12	100	46	115	17	62	103	11	48	105

飼い上手 育て上手は……  
みのに……で  
動物薬品・獣医器具総代理店  
株式会社 美濃谷

本店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL893121  
山形店 山形市山田字羽黒堂5番216 TEL494306  
仙台店 仙台市大字布目字東通り57~1 TEL240963  
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL240963  
いわき店 いわき市常盤湯本栄田3 TEL0246440300

こくておいしい大型びん……

# 森永 ハイクラウン牛乳

宮酪乳業株式会社

仙台市一番町二丁目4-28 TEL(代)23-9101



(2) 昭和50年度死傷事故頭数並びに支払共済金前年対比

内 畜種	事故頭数			支払共済金			対比	
	49年度	50	増減	49年度	50	比較増減	49年度	50
乳牛(成)	994	924	△10	86,186,088	82,005,205	△4,180,883		
乳牛(育成)	46	7	△39	3,296,085	366,592	△2,929,493		
肥育牛	845	750	△95	84,742,917	78,290,577	△6,452,340		
肉用牛	227	230	3	28,201,339	27,731,696	△469,643		
一般馬	18	24	6	2,163,157	3,182,833	1,019,676		
種豚	38	38	0	849,151	971,764	122,613		
計	2,108	1,973	△135	205,438,737	192,548,667	△12,890,070	100	94

## 白と黒

数年前によくこんな言葉が流行した「立てばバチンコ座ればマージャン歩く姿はボーリング」、この三つのゲームのうちボーリングは衰退し最早虫の息でどうやら露命を繋いでいる。

バチンコ、マージャンは戦前にもゲームとして存在していたが今日のように盛況ではなかった。所謂これ等は終戦子である。

昔からの大衆ゲームの代表的なものは囲碁将棋であろう!! 囲碁は、中国の黄帝の時代考案されたもので天文学や易学を研究する道具として使われたと聞く。それが今から1,200年位前に日本に渡来し、現代のルールに完成したのは我国であると言われている。

囲碁は、盤と白黒の石が道具でルールとしても極めて簡単なものであるがゲームとなるとなかなか難儀なもので、定石ともなると無限で深遠なものがある。

戦国の武将も囲碁をよくし、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康……等も囲碁の愛好者であった。特に信長は、相当の実力をもっており録を与えて専門棋士を抱えていた。その棋士に或るとき対局させたところ三コウが出来、その明方に光秀の反逆にあい本能寺で最期を遂げたので三コウは不吉なものと伝えられている。

さて碁の対局であるが、手合をするとすると実力差に応じハンディがあり各人の棋力の程度に応じて「あの手この手に思案を胸に」模索、思考の限りを尽し可能性と発展性を見極め自信をもって一石を投下するが、相手もさる者で自分の思わくのように置いてくれない。

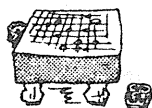
碁は布石から中盤に移るころになると、もう対局者は囲碁以外のことなど考える余地は全くなく、ただ黙々として打ち続け佳境の淵へと迫って行くのである。

そして40分～50分、囲碁の醍醐味を充分満喫して対局は終るのである。

この思考の過程が、ストレスの解消に役立つこと請合で軽い頭の体操にもなると思うので大いに活用して楽しい明るい職場作りに役立てたいと思うのである。

(3) 昭和50年度病傷事故頭数並びに支払共済金前年対比

内 畜種	事故頭数			支払共済金			対比	
	49年度	50	増減	49年度	50	増減	49年度	50
乳牛(成)	24,582	23,483	△1,099	95,058,605	181,605,620	86,547,015		
乳牛(育成)	157	109	△48	632,385	629,240	△3,095		
肥育牛	6,520	6,955	435	21,859,120	35,446,950	13,587,830		
肉用牛	4,814	5,318	504	12,995,965	20,290,340	7,294,375		
一般馬	321	282	△39	1,267,020	1,544,995	277,975		
種豚	87	116	29	195,185	374,305	179,120		
乳用種雄牛		1	1		12,000	12,000		
肉用種雄牛	1	1	0	3,260	2,620	△640		
計	36,482	36,265	△217	182,011,440	189,906,070	7,894,630	100	92



牧場用柵には  
強くて美しくスマートな  
**東伸製鋼牧柵**を!

製造元 東伸製鋼株式会社営業所  
仙台市一番町二丁目7-5 TEL277053  
販売元 塚本商事機械株式会社出張所  
仙台市花京院二丁目1 TEL214581  
代理店 本山振興株式会社  
仙台市昭和町6番10号 TEL346221

システム農業をつくる……!

**STAR**

●豊富な  
アタッチメント



**STAR-農機株式会社**

仙台出張所 983 仙台市福田町2丁目4-20佐正ビル内  
0222-58-7301

# 牧場体験談

鳴子町営放牧場

関 喜一

午前6時30分我が牧場の作業が始まる。牧場入口に畜舎があり、最初に隔離牛(分娩, 病牛)の飼付をし牧場看視所に集し全員で当日の巡視の打合せをして看視作業に入る。

### ※看視で注意すべき点

異常牛は、早期発見早期治療は一般にうたい文句になっているようだが、実際に現地で看視にあたるものにとって、本当に牛が好きで常に細かなところまで気の付く人であれば看視の適任者であるが、なかなかこのような人は少ない様である。

日常、各々の牛をよく観察し頭に入れておくことや、突発的な事故もあるので頭数の確認もしておかなければならない。

放牧場の地理的条件等もあるが、善良な管理をするには放牧牛100頭に対し最少限度看視人1人は必要である。

### ※ 看視の要点について

放牧一年生牛で採食状態の悪いものや(子牛から育成)群から離れている様ときは、異常牛が多く近くまで行き注意して見る。

当放牧場で最近多くなった疾病は、子牛の下痢、育成牛の小型ピロプラズマ、趾間ふらん、胃腸カタル、肺炎である。

ここで私の体験した繁殖センターの子牛の下痢について参考まで述べて見ます。

昭和50年8月より白痢が多発し早期発見し治療してもなかなか回復が遅く、時には死亡するという様な状態であった。所見を申しますと、生後数時間から2週間内には殆んどが発病し悪化して来ると自力で母乳を吸引できなくなり、ふらふらの状態になる。早期発見するには、常に排糞に注意すること。母牛の乳房が、固くなり始まった時は、子牛が自力で母乳を吸引できなくなった証拠である。

そこで、地元共済組合の獣医師や、家畜保健衛生所の生先方の指示に従って治療にあたりましたが、

まず、牛舎の消毒は既肥出しのつど実施した。

主な投薬剤は

ギンベル散、ペンブリチン散、注、硅酸アルミニウム(ノルモザン)、アイペットシロップ、クロロマイセチン等を使用したのが特に効果のあった薬剤はペンブリチン散、注であった。発病子牛が衰弱し自力で母乳を吸引できなくなった時は、母乳を完全に搾乳してやり薬と混合して飲ませた。

下痢のため排糞回数が多くなるので、脱水症状がひどく体内水分の補給と体力をつける目的で粉ミルクやモーレット特Aに飲みやすくするため蜂蜜や黒砂糖を混合し、重症のものには1日3回(朝7時、昼1時30分、夜8時)に投与し回復するに従って投薬回数を2回、1回と減じた。特に体温下降のものは保温に留意した。

始めの頃は、薬だけを調合し投与していたが、排糞されたものを見ると薬そのものが粘液、粘膜にまじり胃袋を素通りしている様子であり効果がなさそうであった。そこで考えたのがミルクや蜂蜜を薬に混合して飲ませることでした。飲ませる容器はビール瓶で1回に瓶7分目程度を体重によって多少量を調整した。

薬液温度は40℃前後で投与の際は子牛の気管に入らない様にできるだけ時間をかけて飲ませるようにした。


薬剤のみの投与に比較し薬剤(+)ミルク、蜂蜜、モーレット混合の方が回復が早いので最近はこの方法を取り入れておりますが、発病から全快まで一週間位かかります。

放牧地での異常牛は林の中や、窪地(沢)の人目の付かない場所に入り易いので巡視のときは、この様なところは特に注意して見ている。

採食時の様子を見てみると健康な牛ほど、口を大きくあけ力強く草をはむが、ストレスぎみの牛は草のにおいを嗅ぐだけで他の牛にくらべて採食に物足りなさを感じさせられる。たとえば誘導のときや、行動時には前の方になって歩くものは元気のよい牛で後方だけついて歩くものは弱いものが多いので注意している。

### ※発情牛の発見

発情牛同志が乗駕し合って行動するし発情牛は尾の付




- ARワクチン (豚ポルデテラ感染症予防液)
- M.G急速凝集反応用菌液
- M.S急速凝集反応用菌液
- ニューカッスル病TCND乾燥予防液

製造 北里研究所 販売 北里薬品産業

いつもフレッシュ!!

# 明治牛乳



明治乳業

根に乗駕された跡が観察される。又雄子牛が後をついて歩く、乗駕する牛は必ずしも発情牛とはかぎらないが乗駕される方は発情に間違いのない様である。乗駕させる具合によって発情の良否の様子がうかがえる様な気がする。

舎飼で発情発見に苦労している様な牛は、放牧することによって容易に発見出来る。

発情牛の捕獲は、第1の方法として数頭いるときはその中で一番捕獲し易い牛をつかみ、これを先頭に誘導し他の牛は数人で後から追いパドックまで誘導し捕獲している。

第2は、発情1~2頭の場合は4~5人で牧柵の近くに寄せて行き長さ1.5m位のカギを使い牛の鼻金丸にかけるか、頸にロープをかけ、すばやく鼻金丸をおさえる方法でやっておりますが事故防止の上からも放牧牛には鼻金丸をつけない地方も大部ありますが私の方では子牛を除いて全頭に鼻金丸をつけてから放牧しております。

以上私の体験の一部を紹介致しましたが多少なりとも参考になれば幸いと存じます。

〈畜産試験場便り〉

子牛の乾草摂取量

丹野 祐一

はじめに

育成中の子牛にとって良質な乾草が不可欠な飼料であることは、いまさら申しあげるまでもない。とくに良質乾草の早期給与は、第1胃の発達を促し、将来の生産性に大きな効果をもたらすことは、これまでの数多くの試験結果が証明している。

しかし、県内酪農家の多くは、この事実を熟知しながらも、乾草の入手難、値上り、それに面倒臭さも加ってか、子牛への利用が十分とはいえない難い実情にあるように思われる。

そこで、子牛の生後月令と牧乾草摂取量との関係についての当場の調査成績を照会し、参考に供したい。

調査材料と方法

(1)調査対象牛：当場生産のホルスタイン雌子牛(生後2~7カ月令)4頭を用い、のべ10回にわたり調査。

(2)調査期間：昭和50年11月~51年3月。

(3)調査対象子牛の育成方法：当場慣行育成方式による。

(4)調査対象子牛に与えたエサ：初乳(生後6日間)、全乳(その後1カ月間)、代用乳(生後2カ月目から1カ月間)、人工乳(生後2カ月目から6カ月目まで)、子牛育成用(生後4カ月目から11カ月目まで)。なお牧乾草は早目に自由採食させた。

調査結果の要約

(1)子牛の生後月令と牧乾草摂取量との間には高い相関( $r = 0.69^{**}$ )がみとめられ、1日の牧乾草摂取量は、 $Y = 0.39X + 0.304$ の回帰式で示される。

(図1参照)

(2)子牛の生後月令と牧乾草からの乾物(DM)摂取量との間にも高い相関( $r = 0.69^{**}$ )がみとめられ、1日のDM摂取量は、 $Y = 0.335X + 0.278$ の回帰式で示される。

(3)子牛の生後月令と、牧乾草からの可消化粗蛋白質(DCP)摂取量との相関も高く( $r = 0.70^{**}$ )、1日のDCP摂取量は、 $Y = 0.022X + 0.017$ の回帰式で示される。

(4)子牛の生後月令と、牧乾草からの可消化養分総量(TDN)摂取量との相関も有意( $r = 0.68^{**}$ )で、1日のTDN摂取量は、 $Y = 0.201X + 0.169$ の回帰式で示される。

なお、(1)から(4)までの数式でYは牧乾草または可消化養分の摂取日量kg、Xは子牛の生後月令を示す。

(5)以上の調査結果を要約すると、表1のようになる。子牛育成用の牧乾草の準備、あるいは給与上の参考になれば幸いである。(筆者 県畜産試験場・家畜第1部長)

表1 子牛の生後月令別牧乾草摂取量と牧乾草からの可消化養分摂取量との関係(1頭1日平均)

生後月令	牧乾草摂取量 (kg)	牧乾草からのDM摂取量 (kg)	牧乾草からのDCP摂取量 (kg)	牧乾草からのTDN摂取量 (kg)
2	1.09	0.95	0.061	0.57
3	1.49	1.28	0.083	0.77
4	1.88	1.62	0.105	0.97
5	2.27	1.95	0.127	1.17
6	2.67	2.29	0.149	1.38
7	3.06	2.62	0.171	1.58

(注) 1日1頭当り摂取量

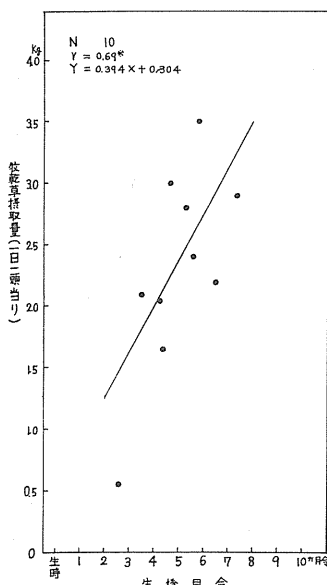


図1 乳用育成子牛の生後月令と牧乾草摂取量との関係

# 昭和51年度 家畜市場開設日程のお知らせ

## 宮城畜産連

本年度の国会関係の家畜市場開設日程を下表に依り、開催いたしますので、前年に引続き尚一層のご利用を下さるようお知らせ致します。

尚家畜市場は、家畜の生産から消費に至る重要な経路であり、又需要と供給を反映した適正価格形成の場で、且つ家畜流通の円滑化を図る等の機能を有するものなので、従って家畜市場の使命は畜産振興上に於いて誠に重要なものであります。

つきましては、家畜の購入並びに販売にあたって多少に拘わらず家畜市場の活用方を、お願い致します。

1. 昭和51年度 子牛せり市場開設日程 (単位 頭)

年月日	51.4	5	6	7	8	9	10	11	12	52.1	2	3
2			小野田 100					小野田 200				
4			川巻 300					川巻 300				
10		小野田 250	小野田 250		小生田 250			小野田 250		小生田 250		小野田 250
11			高島 200					高島 200				
12			松島 30					松島 30				松島 30
14		佐沼 250	佐沼 250		佐沼 250		佐沼 300	佐沼 250		佐沼 300		佐沼 300
16		築館 200	築館 200		築館 250		築館 200	築館 200		築館 200		築館 200
17		白石 20	白石 20		白石 20		白石 20	白石 20		白石 20		白石 20
22												小野田 200
23		亘理 35	亘理 35		亘理 35		亘理 35	亘理 35		亘理 35		亘理 35
24												川巻 200
28												高島 200

(注) 1 上場数は予定頭数です。

2. 昭和51年度 成畜(肥育牛)せり市場開設日程 (単位 頭)

年月日	51.4	5	6	7	8	9	10	11	12	52.1	2	3
3	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300
5	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300
7	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300
9	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300
12	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70
13	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300
14	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70	能代河 70
15	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300
17	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300
19	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300
23	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300	築館 300
25	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300	古川 300
26	大野原 50	大野原 50	大野原 50	大野原 50	大野原 50	大野原 50	大野原 50	大野原 50	大野原 50	大野原 50	大野原 50	大野原 50
27	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300	佐沼 300
29	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300	小野田 300

(注) 1 上場数は予定頭数です。  
2 能代河は肥育牛のみの市場を示す。  
3 小野田成畜市場の平均の2月は28日に開設します。

### 子豚せり市場開設日程

小野田市場において毎月5日、15日、25日開設  
(約1,500頭上場予定)

3. 昭和51年度 種豚オークション開設日程 (単位 頭)

年月日	51.4	5	6	7	8	9	10	11	12	52.1	2	3
1			小野田 150					小野田 150		小野田 150		小野田 150
4		築館 100		築館 100			築館 100		築館 100			築館 100
12										築館 100		築館 100
21	小野田 150		小野田 150		小野田 150		小野田 150		小野田 150		小野田 150	小野田 150

(注) 1 指定種豚市場出品の種豚オールドデンソー - 開催を示す。  
2 その他は種豚オークション開催を示す。

### 昭和51年度

### 肥育牛共励会開催ご案内

開催期日	共励会名	会場	出品頭数
8.22	栗原郡肥育牛共励会	築館家畜市場	150
8.24	遠田郡肥育牛共励会	小野田	150
9.24	仙北肥育牛共励会	古川	180
10.31	宮畜連預託牛肥育共励会	小野田	100
11.22	登米郡肥育牛共励会	佐沼	150
12.2	冬の志田古川肥育牛共励会	古川	150

(注) 臨時市場を行うものとし、都合により日程を変更する事もあります。

## 市場案内

### 黒川家畜市場 (022359-2721) 宮城県経済連

開催日	開催日
子豚	毎月10日、20日、30日
種豚	4月、7月、10月、1月の各27日
肉用子牛	7月、11月、3月の各18日
成畜	毎月8日
緬羊	8月20日

### 中央家畜市場 (0222-(41)-3516)

### 宮城県家畜商

開催日	開催日
成畜	毎月1日、6日、11日、18日、21日、28日

### 佐沼家畜市場 (02202-(2)-3131)

開催日	開催日
成畜	毎月7日、17日、27日

川渡家畜市場 (0222-(25)-1698)

宮城県軽種馬協会

開催日	開催日
畜種	
軽種二才駒	6月15日展示会 6月16日せり

### 畜産団体紹介 (7)

**団体名** 宮城県家畜商協同組合  
**代表者** 大石 武一  
**所在地** 〒981-11 仙台市中田町字南河原9の1  
**電話番号** 0222(41)1733, (41)3516  
**会員数** 1,746名  
**主な事業** (1)家畜市場開催  
 (2)肉用素牛貸付事業  
 (3)融資事業(家畜取引基金等)  
 (4)教育情報提供事業  
 (5)畜産振興協力事業

## 畜産コンサルタント

### 新規事業の紹介について

昭和51年度から畜産コンサルタント事業実施要綱の一部改正に伴い、従来の個別診断指導事業(総合診断と特別診断)のなかに、新たに「高度技術導入等部門診断」が加えられ、診断指導の適正強化がはかれることになりました。

この診断のねらいとしているところは、一経営体の経営や技術の一部門、たとえば「飼養標準に基づく飼料計算と合理的な給与方法」といったように、部門的な問題を即応的に診断し、当面の対策を迅速且つ適確に助言指導し、個別経営の改善に資することを目的とした事業で、いわゆるワンポイント診断です。本会においても本年度事業として40事例程度を対象として診断する計画にしておりますので、関係団体の皆さんから管内農家にこの趣旨を御話し下され、どしどし受診されるよう御案内申し上げます。

### 新刊図書案内

図書名	発行	定価
日本飼養標準(乳牛)	中央畜産会	600円
“(肉用牛)”	“	800”
“(豚)”	“	630”
“(家禽)”	“	450”
日本標準飼料成分表	“	850”

申込は宮城県畜産会へ

## 畜産映画

### ライブラリー案内

本会では、畜産農家の方々へ視聴覚を指導の一環として下記フィルム(16ミリ)の貸し出しを行なっておりますので希望者は本会あて申し込んで下さい。

題名	映写時間
1 牛の栄養と消化	25分
2 乳牛のエサと栄養障害	25
3 最近の乳牛の病気	20
4 放牧牛の衛生	10
5 これからの乳質改善	20
6 乳牛のしつけ	20
7 上手な牧草の作り方と利用	25
8 草と共に生きる	20
9 鶏, 豚, 牛の害虫	25
10 和牛の生産, よい素牛の育て方	20
11 肉用牛の生理と栄養	20
12 新しい肉用牛肥育	20
13 豚の繁殖と生産	20
14 最近の豚の病気	25
15 豚改良への道	27
16 新しい育すうの技術	20
17 ひなの育成と日常管理	20
18 鶏の生理と伝染病	20
19 ニューカッスル病とその対策	20
20 養鶏経営を考える	25
21 豚のふん尿処理	21

16mm映写機



人の動き

宮城県

4月1日付

新	旧	氏名
築館農林事務所長	古川家畜保健衛生所長	今野代太郎
古川家畜保健衛生所長	迫	清水深
迫	畜産課技術主幹兼衛生係長	亀井美栄三
民生部老人福祉課長補佐	畜産課長補佐	山下忠之
農政部畜産課長補佐	住宅課長補佐	山賀文守
農政課技術補佐	畜産課技術主幹兼畜産環境整備係長	芳賀妻貞
畜産課技術主幹兼衛生係長	大河原家保, 防疫課長	我上泉下
畜産環境整備係長	古川	日井沢
酪農係長	仙台	赤井義
大河原家保, 技術主幹兼指導課長	大河原	岡崎
防疫課長	白石牧場技術主幹	星
指導課長	畜産課技術主幹兼酪農係長	相原豊左
古川	古川家保, 防疫課長	田孝武
築館	築館	武場民雄
農産短期大学講師	仙台	大場初五
農政部農業経済課金融第二係長	畜産課技術主査	滝野田
古川家保, 指導課長	技師	佐藤武夫
農政部畜産技術主査	古川家保, 技師	渡原益
(肉畜係)	大河原家保, 技術主査	宇和野
畜産試験場研究員	畜産試験場	畑中
古川福祉事務所	土木部道路建設課	石垣敏
農政部畜産課(総務係)	農業経済課主査	石川勇
酪農係	迫家保, 技師	石秀島
仙台家保, 病性鑑定課	築館家保, 技師	大斉藤
古川家保, 指導課	白石牧場	佐々木
防疫課	岩出山牧場	田中
築館家保, 指導課	大河原家保	桐生
防疫課	畜産試験場	三浦
迫家保, 指導課	農業センター	大沼
畜産試験場	古川土木事務所	中沢
岩出山牧場	畜産試験場	
土木部港湾課	畜産課	
畜産開発公社	農地開発課技術補佐	

宮城県経済農協連合会

4月1日付

畜産部付(審査役)	古川文所長	太田真一
営農対策室付(嘱託)	営農対策室長	矢吹春久
総合技術課長補佐(調査役)	仙台食肉事務所長	星三浦恒仁
黒川家畜市場長兼務(調査役)	畜産課長補佐	三浦地雄
佐沼支所次長兼務(調査役)	佐沼食肉販売所長	菊地昭章
仙南飼料配送センター所長(調査役)	黒川家畜市場長兼畜産課長補佐	佐藤藤木
畜産課長補佐(調査役)	畜産課	鈴木太郎
仙台食肉事務所長(調査役)	事務課	小林益雄
畜産課(一般職)	仙北食鳥販売所	小部幸市
仙北配送センター(一般職)	仙北配送センター	阿多田伍三
仙北食鳥販売所(一般職)		佐藤清

宮城県農業共済組合連合会

3月31日付

業務第二部家畜課長	総務部総務課長	加藤幸三
診療課長	業務第二部家畜課長	高橋芳
主幹	診療課長	穴戸亮
家畜診療研究所	主査	志賀隆男

宮城県畜産物価格安定基金協会

5月21日付

常務理事	県農政部農業普及課長(新採用)	谷松宇三
		青木優子

宮城県畜産会

4月1日付

常勤畜産コンサルタント(退職) 3月31日付	県農業センター営農機械部長 常勤畜産コンサルタント	赤間東吉
		秋元武蔵

宮城県畜産農協連

5月17日付

嘱託技師	県衛生部公衆衛生課技術補佐	鈴木孝喜
------	---------------	------